

G20 関係閣僚会合長野県推進協議会 設立趣意書（案）

2019年6月15日・16日に「G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」が長野県軽井沢町で開催されることになりました。

2016年のG7長野県・軽井沢交通大臣会合に続き、ハイレベルな国際会議の開催地として長野県軽井沢町が選定されたことは、過去の実績と開催能力が高く評価されたものと考えています。

長野県では、本年4月からスタートした「しあわせ信州創造プラン2.0 ～学びと自治の力で拓く新時代～」(長野県総合5か年計画)にSDGs(持続可能な開発目標)の理念を反映し、経済・社会・環境の三側面の課題に統合的に取り組んでおり、6月には、国(内閣府)からSDGs達成に向けて先導的に取り組む「SDGs未来都市」に選定されました。

また、「長野県環境エネルギー戦略」を2013年に策定し、経済を発展させながら温室効果ガス総排出量の削減に取り組むとともに、再生可能エネルギー100%の地域づくりに向けた取組を積極的に推進してまいりました。

このような取組を進めてきた長野県において、環境とエネルギー分野に関する会合が開催されることは大変意義深いものです。

さらに、この会合開催は、豊かな自然や美しい景観、豊富な食材などの長野県が持つ魅力やおもてなしの心を世界に向けて発信する絶好の機会となります。

そこで、多くの関係者の御賛同と御協力を得て、万全の態勢で会合開催に向けた準備を進めるとともに、SDGsや地球環境問題などについて主体的に学び、取り組み、発信・提案する契機とするため、ここに「G20 関係閣僚会合長野県推進協議会」を設立します。